



セントポールズ・リリー

立教セカンドステージ大学 社会貢献活動サポートセンター

# RSSC プラチナ社会創造研究会

ニューズレター

Vol.3 Nov, 2016

## トピックス

プラチナ創造研は、豊島区主催の『秩父市民と豊島区民が地方居住を考えるワークショップ』のファシリテーター役を無事終え、秩父市久喜市長と豊島区高野区長への「政策提案発表会」の準備を進めているところです。このプロジェクトは、5期生から7期生のゴールド会員と、8期生、9期生の在校生会員が参加する、たいへん有意義な、自治体連携のプラチナ社会創造活動でした。ご支援賜りました全会員の皆様に、厚くお礼申し上げます。

さて、第2回総会は、この経過報告と、7期生の清水誠さんに『訪日外国人200万人到達～観光立国の行方～』を演題にご講演いただきました。清水さんはRSSC修了後、淑徳大学非常勤講師としてご活躍です。

(代表 小池久雄)

## 第3回 11月

### 研究会報告

- ① 今期活動報告 (副代表岩熊さん)
- ② 写真、動画による活動紹介 (宮崎さん)
- ③ 講演 7期生 清水誠さん
- ④ 総評 坪野谷先生

■ 期日:2016年11月9日(水)13:00~14:30 ■ 会場:セントポールズ会館(芙蓉)

■ 6期(2名)・7期(9名)・8期(7名)・9期(6名) 計24名

### ① 『秩父市民と豊島区民が地方居住を考えるワークショップ』の経過報告 副代表 8期生 岩熊徹

豊島区が「消滅可能性都市」と指摘されたのを機に、同じく指摘された秩父市との「姉妹都市提携」を活性化させようと、このワークショップが企画された。ワークショップは今年の7月、8月に、計4回実施された。

第1回が三菱総研 松田智生主席研究員の講演『ピンチをチャンスに変える生涯活躍のまち～いつまでも輝けるひと～』、第2回は秩父市視察ツアー、第3回、4回は秩父市民、豊島区民参加によるグループワークで、テーマは、「秩父市と豊島区のお互いの魅力を語ろう!」・「どうすれば姉妹都市として交流が深まるか?」・「生涯活躍のまちづくりとして、住みたくなるまちづくりとは?」の3つ。

当研究会はグループワーク 4 テーブルのファシリテーターを担当し、また、RSSC受講生、修了生メンバーの専用テーブルとして、1テーブルが追加設置された。ワークショップの成果は12月10日に豊島区役所において、「住みたくなるま

ちづくり提案書」として、秩父市長、豊島区長への発表会が予定されている。皆様も、是非ご出席いただきたい。

👉 [成果発表会はこちら](#)

ワークショップの延長として、10/16立教ホームカミングデーに、RSSC社会貢献サポートセンターとして出店した。



秩父銘仙隊に応援いただきました。

秩父市役所、豊島区役所もそれぞれの観光ポスターや名産品を持ち寄って参加いただいた。ちちぶワイン、イチローズモルトウィスキーの試飲や、秩父銘仙嬢にもご来場いただいた。



ホームカミングデイ参加の皆様お疲れ様でした。

サポートセンターからは、コミュニティ活動研究会の掲示発表、ウクレレ合唱団「鈴懸」の演奏、コットンドリームい

わきの「オーガニックコットンハンカチ」の販売などがあつた。次に、ワークショップ、ホームカミングデーの様子を映像でご紹介します。

## ② 映像による活動報告 8期生 宮崎弘行

今年7月、8月のワークショップ4回と、立教ホームカミングデーの写真、VTRでご紹介した。

豊島秩父Project (7/23~8/29)



立教ホームカミングデー (10/16)



活動内容の充実と、会員のニーズに合わせた絶え間ない改革が必要だ

- 4) 目に見える活動実績と、内外発表の機会
- 5) 大学側の評価と関心  
サポートセンター活動は、高く評価されている。

### 【アクティブシニアの健康長寿】

- 1) 学び続けること
- 2) 適度に運動すること
- 3) 人と会い、会話すること
- 4) コミュニティで役に立つこと

RSSC生は、1) から 3) は学校に来るだけで、すでに出来ている。4) はサポートセンター研究会に参加することで、体験できる。

## ③ 講演『訪日外国人2000万人到達～観光立国の行方～』 7期生 清水誠さん 淑徳大学経営学部非常勤講師

2016年10月で訪日外国人は2000万人に到達した。通年では2400万人を見込む。内訳は、中国人が500万人で4割、韓国、台湾、香港を含む東アジアで全体の7割になる。彼らは安価なクルーズでやってくる。その経済効果は2.2兆円で、観光全体の10%を占める。

2003年(H15)に、当時の小泉首相が「2010年に訪日外国人を1000万人に倍増する」と、「観光立国宣言」した。観光は21世紀のリーディング産業である。市場規模が大きく、すそ野が広い。地方経済を活性化することが出来、雇用の創出が期待できる。2008年には、観光庁が発足した。

2004年には、4000万人の訪日外国人を見込む。地方創生につながる絶好の機会である。人口減少は、観光客の交流人口で補うことが出来る。一方、海外旅行邦人は増加しておらず、特に若者が海外に興味を示さない傾向にあることは懸念事項だ。

最後に9期生のみなさんに、本日の感想を聞いた。清水さんの講演が強く印象に残ったようである。

本日は連携している三菱総合研究所(MRI)に関する発表がありませんでしたが、MRIの実施する無料の「分科会発表会」等は、会員のみなさまにご案内致しますので、是非ご参加ください。

以上

## ④ 総評 坪野谷先生

『RSSC社会貢献サポートセンターの課題と、アクティブシニアであり続けるための4つのポイント』についてお話しいただいた。

### 【RSSC社会貢献サポートセンターの課題】

#### 1) 新規加入者の獲得問題

9期生はすでに40名(重複加入者を含むのべ人数)加入しているが、研究会によりばらつきがある。

#### 2) 後継者問題

新規加入者が続けば解決する。

#### 3) 持続性問題

RSSC プラチナ社会創造研究会

代表 8期生小池 久雄、副代表 8期生岩熊 徹、  
総務 8期生青木 美恵 rsscplatinum@gmail.com